



ひかり

師走を迎え、今年も残りわずかとなりました。日々の学校生活の中で、子どもたちは教科の学習や行事だけでなく、友だちとの関りや日々の出来事を通して、心も大きく成長しています。本校では、年間の道徳の時間を要に、教育活動全体を通して他者の気持ちを考えるなど道徳的心情、判断力、実践力を育む活動に努めています。

昨年度は、オープンスクールで全クラス道徳の授業を参観していただきましたが、学校全体で様々な教科の授業を参観していただくために、今年度の道徳の授業は、学校だよりを通して紹介することにしました。学びの一部ではありますがご紹介いたします。子どもたちが学校で考えたことや感じたことをご家庭で語り合うことは、その学びをさらに深めていくこととなります。学力向上を目指す教科の学習に限らず、道徳の授業についても同じことが言えます。ぜひ、日常の会話の中で道徳の学びも話題にしていただき、豊かな心の育成にお力添えいただければ幸いです。

豊かな心

— 心を育てる道徳の学び —

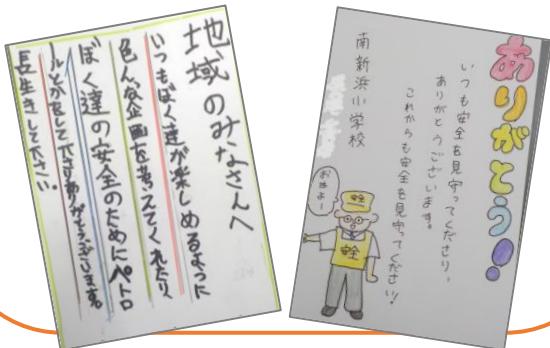
道徳教育は、子どもたちに思いやりや正義感、責任感などの価値を身に付けさせるとともに、社会での良好な人間関係を築くために必要な心の基盤をつくる重要な学びで、内容は多岐に渡っています。

道徳の時間は、「正解」を教える時間ではありません。自分の気持ちを見つめたり、
友だちの考えに触れたりしながら、「自分はどうしたいか」「どう行動するか」を考える時間です。

以下に、各学年の取り組みの一部を紹介します。

6年生

「感謝の気持ちを伝えよう」という内容で、日ごろお世話になっている地域の方に感謝カードを作成しました。当たり前になっている日常を振り返り、毎日の登下校の見守りや夏祭りや餅つき大会などの地域の行事、すずがも祭やふれあい清掃などの学校行事への参加などを思い起こし、それぞれが感謝の気持ちをはがきに書きました。



5年生

「権利と義務」について考えました。遊園地のショーの観覧で、後ろに人がいる中で子供を肩車した親の気持ちに共感できるか、そうでないかを話し合いました。話し合いをするなかで、あまり共感できないという意見の子が多く、権利は「他の人に迷惑をかけない」範囲で認められるのではないかという結論に至りました。また、後ろに下がったり、横に行ったりして人のいないところで肩車をすればよいのかという具体的な意見も出てくるなど柔軟に考え方を話し合う姿が見られました。



4年生

「家族愛、家庭生活の充実」について考えました。家の仕事の対価を請求書にして母に渡したたかしの姿と、見返りを求めない無料の請求書を渡した母の姿からそれぞれの思いに着目して、考え方話し合いました。そして、自分は家族のためにどんなことをしているか自己を見つめる時間を作りました。「お風呂そうじを、家族がきれいなお風呂に入れるようにという気持ちでやっていきたい。」「料理をしたり洗濯物をたたんだり、お風呂掃除をしている。少し面倒くさいと思う時もあるけど、みんなでやるから楽しい気持ちになる。」「家族が喜んでくれるから掃除をしている。」と考えている児童もいました。そういう意見を交流することも道徳の大切な時間です。

3年生

「国際理解、国際親善」について考えました。登場する家族の生活には、日本生まれの母、カメリーン生まれの父、家族が住んでいるアメリカの3つの国の文化や習慣の相違点や共通点に気づきながら、主人公がどんなことを考えたか話し合いました。「言葉や生活、過ごし方は違うけど、優しい心や気持ちは同じだと思う」「違うと困ることもある」「すべてを同じにすることはできない」「同じだったら旅行の意味がなくなる。」「同じだったら世界はつまらないと思う。」などの意見がありました。自己と他国との違いに気づき、それぞれの良さを感じ、関心や理解を深める時間となりました。

2年生

「礼儀」について考えました。教頭先生が来てくれて授業をしてくれました。目はつぶると見えないけど、音は聞こえてくることを体感し授業が始まりました。「耳は聞かせたくなくても、聞こえてしまう」ことから、普段の自分の言葉を振り返りました。チクチクが聞こえるとどんな気持ちになるかな。学校の近くに住んでいる人はどう思うかな？また「言われて嬉しかった言葉」も振り返りました。たくさんの言葉から、「自分が一番大事にしたい宝物の言葉」を選び、ワークシートにまとめました。「サッカー上手だね」「素敵だね」「がんばったね」「すごいね」など子ども達からたくさんの「ふわふわ言葉」「ぽかぽか言葉」が出てきました。

教頭先生からは、2年生から南新浜小にふわふわ言葉を広めていってほしいとお願いされ、「クラス宣言証」をいただきました。



1年生

「個性の伸長」について考えました。自分には良いところがないと思っている「わたし」に「ともちゃん」はええところを見つけてくれて嬉しくなるというお話を聞いて、「わたし」の気持ちを想像しました。学習の後半には、班の友だちの良いところをワークシートに書き、伝え合う時間を設けました。友だちに見つけてもらって、発見したじぶんの「ええところ」とそれを知ってどう思ったかをワークシートにまとめました。子ども達はたくさん友だちの良いところを見つけ、伝えることができました。「字がきれい」「やさしくて、元気してくれる」「困っている友だちに声をかけてくれるところ」「一緒に遊んでくれるところ」「鉄棒を教えてくれた」など自分で知らなかった良いところに気づく時間となりました。

にじのわ学級

日常生活や学校生活など子どもたちにとって身近な内容を取り上げています。先日は、1年生の道徳の教科書から「よりみち」という題材で考えました。学校からまっすぐ家に帰るというルールを確認しました。また、おうちの人や先生が心配することにも気づきました。相手の気持ちに立って考えることは難しい時もありますが、ロールプレイなども取り入れながら行っています。

外部講師を招いて

○2年生、4年生の人権教室

人権委員さんに来ていただき、いじめについて考え方話し合う時間です。本校では、2年生と4年生で毎年実施しています。

・2年生「種をまこう」

「いっしょに遊ぼう」という話をもとに、いじめは遊びの中でも起こることがあるので、みんなで考え方話し合うことで、誰もが楽しく遊べることについて考えました。

・4年生「プレゼント」

誕生日のプレゼントに端を発した「いじめ」をテーマにしたDVDを視聴しながら、それぞれの主人公の立場になって考え方話し合いました。



○5年生の実践講座

学校支援実践講座を行いました。これは各クラス5・6名のグループに地域支援者の方が1名ずつ入り、題材と一緒に読み考えていきます。支援者の方には子ども達の意見を受け止めてもらい、グループの話を代表として発表してもらいます。今回はいじめについて考えました。

高学年になると自分の意見はなかなか言えなくなりますが、支援者の方が親身に聞いてくれるので、子ども達は安心して意見を出し合っていたようです。いろいろな意見が出てよいこと、グループ協議の進め方やまとめ方を知る機会ともなりました。

○6年生の人権教育

スクールロイヤー（弁護士さん）に来ていただき「人権の大切さについての授業～いじめを法律や人権の観点から考えよう～」という内容で道徳の授業を行いました。弁護士とはどんな仕事をしているのか、法律がなぜ必要なのかについて話を伺いました。また、「いじめ」とは何かを法律から考え、相手の立場になって考えることが大切であることや基本的人権を奪うものであることを学び、自分には何ができるか、何をしなければならないかを考えました。

振り返りシートには、「小さなことでも人を傷つけることを学んだ。発言や行動する前に相手がどう思うかを考えたい。」「インターネットは簡単に書き込むことができ、相手の顔が見えないから気を付けようと思う。」「みんなが基本的人権を持っているから、相手が苦しい思いをしたら、相手の基本的人権を奪うことになることを知った。」など自分なりの考えをまとめました。

他学年との交流を通して

年間を通して、ペア学年での活動（遠足、交流みなみタイムなど）を行っています。一部を紹介します。

○幼保こ小交流会

市川市では架け橋プログラムとして、小学校へのスムーズな就学ができるよう幼稚園・保育園・こども園・小学校が連携して様々な交流会を実施しています。1年生にとっては、2年生に向けて心を育てる活動もあります。

【本校の取組み】 11月：園の先生方の授業参観（1・2年生の授業）※今年度新たな取り組み

12月：園児の授業参観（1・2年生の授業）※今年度新たな取り組み

2月：1年生と園児の交流会

小学校1・2年生の授業を参観した先生からは、「卒園後の小学校の様子が分かってよかったです。」「年長までに何をしていくか明確になり、とても貴重な時間だった。」「視覚的に伝えている場面があり、保育園でも工夫できると思った。」「今後も接続を意識した保育をしていきたい。」などの感想をいただきました。



また、12月には、園児の授業参観も行いました。1年生は国語・道徳・音楽の、2年生は算数・図工・体育の授業参観も今年度初めて実施しました。子どもたちは、保護者の方の参観日より少し緊張した面持ちでしたが、手を挙げて発言したり、姿勢よく座ったりして、かっこいい姿を見てもらいました。園児は、広い校庭に驚いたり、知っているお友だちがいると嬉しそうにしたりしていました。

引率の先生からは、「入学前に、小学校でどのようなことをするのか想像ができ期待感が増したように感じる。」「校内の雰囲気や小学生の様子に触れることで、小学校という場への理解を深め、期待を高める大変良い経験となった。」「就学時健診で小学校への興味や期待とともに不安もでてくるこの時期に参観できたことは大きな安心につながった。」「園に戻ってから、どの子も小学校のことを話しており、今回の経験が子どもたちの心に残っているのを感じる。」などの感想をいただきました。

2月には、園児と本校1年生の交流会を予定しています。少しでも、小学校のイメージを持つことができ、入学を楽しみにしてくれればと思います。

○6年生の読み聞かせ

読書月間に合わせて、6年生一人一人がペアの1年生に読み聞かせを行いました。6年生は休み時間や課題が終わった時などに自主的に練習をする姿が見られました。当日は、1年生が聞きやすいように隣に座って、時々1年生の顔を見ながら読んでいる姿は、心温まるものでした。読み聞かせしてもらった1年生は、とても嬉しそうで、6年生が読んでくれた絵本の内容を嬉しそうに担任に話してくれた児童がたくさんいたようです。



本校では、道徳の時間だけでなく、様々な場面で、心を育てています。道徳教育は目に見える結果がすぐに現れるものではありませんが、日々の積み重ねによって、子どもたちはより豊かな人間性を育んでいきます。保護者の皆様にも、その成長を見守っていただければと思います。